

事業評価シート

番号 1040014 - 1

【1.基本情報】

事業名	運動を通じた健康づくり支援				
担当部名	健康部	担当課名	北市民健康センター		
未来地図政策	活動の源になる健康づくりの推進			政策コード	2 - 1 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	介護保険法、岐阜市高齢福祉計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の健康寿命延伸を図るため、フレイル予防及び生活機能の低下予防、介護予防の観点から、市民と協働で運動を通じた健康づくり活動及び介護予防活動を地域において展開する。				
事業の内容	フレイル予防、生活機能低下及び介護予防に効果的な「いきいき筋トレ体操」を市民に普及する「いきいき筋トレサポーター」を養成するため、「いきいき筋トレサポーター養成講座」を開催する。また、高齢者が元気で活動的に過ごせるように、いきいき筋トレサポーター及び保健師が運動を通じた健康づくり活動及び介護予防活動を地域において展開する。				
事業の対象	何を	いきいき筋トレ体操			
	誰に (対象者・対象者数)	1. いきいき筋トレサポーター養成講座参加者 2. いきいき筋トレサポーター 3. いきいき筋トレ体操参加者			
	どのくらい (具体的 数値で)	1. いきいき筋トレサポーター養成講座 (H30:全11回) 2. いきいき筋トレサポーター交流会及び体力測定 (H30:1回×3会場) 3. フォローアップ研修会 (H30:前期1回×5会場、後期1回) 4. 合同調整会議 (H30:1回) 5. いきいき筋トレ体操サポーター活動延べ回数(H30:2,533回)			
平成30年度 (実施内容)	1. いきいき筋トレサポーターの募集、養成講座、フォローアップ研修会及び合同調整会議の開催 2. いきいき筋トレ体操の普及啓発 3. 地域活動の場に講師を派遣し、筋トレサポーターによる普及活動を支援 4. 普及活動の具体的な課題等を調整する地域活動調整連絡会議の開催				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	12,373	407	12,373	407	12,373	407
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	12,373	407	12,373	407	12,373	407

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,550	1,307	1,297
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	報償費	911	913	732
	消耗品費	123	153	166
	印刷製本費	174	41	198
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,550	1,307	1,297

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	13,923	13,680	13,670

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	288	326	332
県支出金	180	163	162
市債			
使用料・手数料			
その他	888	653	641
計(F)	1,356	1,142	1,135

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	12,567	12,538	12,535

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	57,219	57,150	55,788
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	220	219	225

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	いきいき筋トレサポーターの活動延べ回数	単位	回
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	2,523	2,469	2,336

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加延べ人数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			
実績値	57,219	57,150	55,788

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	高齢者が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で生涯にわたり、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくことができるよう、介護予防に取り組む必要がある。平成17年度の筋トレ定開催会場数1か所から、平成30年度で144会場に増加しており市民のニーズが高い。 市民の健康寿命延伸を図るため、フレイル予防及び生活機能の低下、介護予防の観点から、地域住民が主体的に健康づくり活動に取り組めるよう本市が支援することが必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	いきいき筋トレサポーターは市内のほぼ全域においてボランティアで活動しており、費用対効果は高い。 本市といきいき筋トレサポーターが協働で取り組んでいる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	事業当初の参加者は延べ5,239人であったのに対し、平成30年度の参加者は延べ55,788人となっており、いきいき筋トレ体操が普及している。また筋トレ教室参加者の体力測定結果から、体力年齢は、地区ごとに異なるが実年齢より若いというデータが示されている。さらに、筋トレ教室参加者が、社会的フレイルの状態であっても、体力年齢は、年相応～若干若い傾向にあるというデータが示されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	いきいき筋トレサポーターによる普及啓発活動は、市内のほぼ全域においてボランティアで行われており、公平性は確保されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	体力測定の結果から参加者の体力年齢の改善されており、フレイル予防、生活機能低下及び介護予防につながることから、事業を継続する。